

受理年月日	令和2年12月10日	付託年月日	令和2年12月15日	所管委員会	福祉都市委員会
番 号	2 年 請 願 第 2 1 号				
件 名	入院時食事療養費負担額の引下げを求める意見書議決について				
請 願 者	博多区千代五丁目18-1 千鳥橋病院 院長 山本 一視 外 23人				
紹介議員	綿貫[筆頭]、中山、松尾、山口(湧)、堀内、倉元、荒木、森(あ)				
分割付託	なし				
要 旨	<p>国は公的医療保険の給付抑制の一環として、入院時食事療養費の患者自己負担額の大幅引上げを行ってきた。2016年4月に1食260円から360円に、2018年4月からはさらに引き上げ、460円とした。</p> <p>入院給食はバランスの取れた3度の食事のみならず、患者一人一人の病状や栄養状態に応じて提供し、栄養管理を行う治療の一環としての役割を果たしている。</p> <p>現在、入院中の食費は1食640円となっているが、このうち患者は、食材費や調理費相当額として460円を負担し、残りは入院時食事療養費として公的医療保険で賄われている。医療費の自己負担割合は3割にもかかわらず、入院中の食事代についてはこれが当てはまらず、入院中の食費の自己負担割合は2018年以降7割を超えるものとなっている。入院すれば1日1,380円の自己負担額が発生し、これに伴う受診抑制や、入院が必要と認められる患者の入院拒否につながり、安心して医療が受けられない状況となってしまうおそれがある。</p> <p>よって、市民が安心して医療機関を受診でき、安心して治療の継続が行えるよう、以下の事項を請願する。</p> <p>1. 入院時食事療養費負担額の大幅引下げについて、国に対し意見書を提出すること。</p>				
審 査	令和 年 月 日	結 果	委員会		
年 月 日	令和 年 月 日		令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		本会議 令和 年 月 日		

請願書

2020年12月10日

福岡市議会議長 阿部 真之助 様

請願者代表 福岡市博多区千代5丁目18番1号 092-641-2761

千鳥橋病院 院長 山本 一視

外23人

- 請願者
- ・医療法人和浩会 安藤病院
 - ・医療法人石西整形外科医院
 - ・エンゼルマタニティークリニック
 - ・医療法人山水会 香椎療養所
 - ・医療法人くろかわみちこ小児科クリニック
 - ・医療法人SSC
 - ・公益社団法人福岡医療団 たたらリハビリテーション病院
 - ・医療法人田中産婦人科クリニック
 - ・特定医療法人社団相和会 中村病院
 - ・医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院
 - ・医療法人幸雄会 古原医院
 - ・医療法人松寿会 松永病院
 - ・医療法人森下産婦人科医院
 - ・医療法人ガーデンヒルズウィメンズクリニック
 - ・医療法人梅野小児科内科医院
 - ・医療法人原三信病院 香椎原病院
 - ・医療法人光生会 かなざわクリニック
 - ・医療法人愛風会 さく病院
 - ・公益社団法人福岡医療団 千鳥橋病院
 - ・医療法人社団広仁会 広瀬病院
 - ・医療法人光川会 福岡脳神経外科病院
 - ・医療法人貴愛会 分山眼科医院
 - ・医療法人光安整形外科
 - ・森レディースクリニック

連絡先：福岡市博多区千代5丁目18番1号
公益社団法人福岡医療団 本部組織部

件名 「入院時食事療養費負担額の引き下げ」の、国への意見書提出について
要旨

国は公的医療保険の給付抑制の一環として、入院時食事療養費の患者自己負担額の大幅引き上げを行ってきた。2016年4月に260円から360円に、2018年4月からはさらに引き上げ、460円とした。

入院給食はバランスのとれた三度の食事のみならず、患者一人ひとりの病状や栄養状態に応じて提供し、栄養管理を行う治療の一環としての役割を果たしている。

現在、入院中の食費は1食640円となっているが、このうち患者は、食材費や調理費相当額として460円を負担し、残りは「入院時食事療養費」として公的医療保険でまかなわれている。医療費の自己負担割合は3割にもかかわらず、入院中の食事代についてはこれが当てはまらず、入院中の食費の自己負担割合は2018年以降7割を超えるものとなっている。入院すれば1日1,380円の自己負担額が発生し、これに伴う受診抑制や、入院が必要と認められる患者の入院拒否につながり、安心して医療が受けられない状況となってしまう恐れがある。

こうした状況から、市民が安心して医療機関に受診でき、安心して治療の継続が行えるよう、「入院時食事療養費負担額の大幅引き下げ」について、国に対し意見書提出をしていただきたい。



以上